

～令和3年7月 データから見た業界の動き～

7月報告のポイント

すべてのDI値が回復傾向を示すが事業者の実感はどうか？

楽観視できない・・・先行きに慎重な見方大半

■ 概 況

7月の県内景況のD.I値は、製造業・非製造業をあわせた全体で売上高+22ポイント（前年同月比+76）、収益状況+2ポイント（前年同月比+38）、景況感-6ポイント（前年同月比+52）となった。収益状況がプラスとなったのは2018年（平成30年）8月以来で3年ぶり

業種別では、製造業は売上高+15（前年同月比+85）、収益状況▲15（前年同月比+30）、景況感▲5（前年同月比+65）、食料品製造業/水産物加工業では、一般流通向けの売上げが好調（昨年度比125%）、洋菓子製造業も猛暑によって冷菓の売上げが増加（昨年度対比142%）との報告がされた。反面、麺類製造や土産品菓子等は大都市圏の緊急事態宣言発令により人流が制限され昨年より売上げが振るわなかったとの報告もあった。

繊維製品製造業では服裏地、ネクタイ、インテリアの動きが特に鈍く、OEM商品開発も受託先によって大きく差が出ている様子。骨材製造/山砕石では舗装用骨材や割栗石の販売が増加しているが、一時的であり安定的な受注には至っていないとの報告がされた。

金属製品、一般機械、電気機械部品製造業では昨年よりは良いが、半導体も自動車産業も勢いは弱く、景気の先行きが見通せず、生産計画の後ろ倒しが見受けられるとの事であった。

非製造業では、売上高+27（前年同月比+70）、収益状況+13（前年同月比+43）、景況感▲7（前年同月比+43）となった。青果は異常な気温の高さから農産物が不足、流通量の減少が報告された。食肉の小売業からは緊急事態宣言の影響からホテルや旅館、飲食店の需要が伸びず、商店街や宿泊業、バス・タクシーなどの運輸の業界からも同様に新型コロナウイルス感染が抑えられ、来県者や人流の増加を期待する意見が多かった。

一方、建設業界からは公共、民需共に増加の傾向にあるとの報告があった。総合建設業では件数で前年同期比108%、請負金額では127%と増加、しかし原材料となる鋼材や資材が高騰（鉄構、管工事）、今後収益悪化の恐れがあり楽観視できないという。また、建設業の好調と小規模イベントやコロナワクチン接種の拡大を受け警備業においては仕事量が増加、警備員不足により受注の調整を行う組合員もあるとの報告がされた。

ここ数ヶ月間の景況調査では売上、収益、景況感のDI値の推移と各業界から報告されるコメントには乖離がある。新型コロナウイルス感染症の収束が見通せない状況の中、事業活動の先行きへの不安から、明るいコメントが控えられているのではないかと中央会では捉えている。

前回収益のDI値が総合でプラスを示したのは、2018年（平成30年）8月、2020東

景況の回復に向けた期待感が大きく、派手さはないが個人消費も堅調に維持されデフレの解消も進むかという時期であった。今回は昨年が悪すぎたという見方がすべての業界にあり、売上・収益のDI値のプラスが景気回復を示すものではないと考えられる。中央会では中小企業・小規模事業者の経営状況を見極め適切な情報提供を行うこととしている。

■ 業界からのコメント (業界ごとの詳細は、以下のコメントを参照)

● 製造業

<p>食料品 (水産物加工業)</p>	<p>ギフト関係商品や業務用商品の売り上げは減少しているが、スーパーなどの一般流通の売り上げが好調で前年同月比125%程となった。しかし、新型コロナウイルス感染拡大前の売り上げほどまでには回復していない。</p>
<p>食料品 (洋菓子製造業)</p>	<p>全商品とも好調。猛暑により特に冷菓の売り上げが増加し、前年同月比142%となった。</p>
<p>食料品 (麺類製造)</p>	<p>スーパーやドラッグストアなどの一般流通の売り上げなどには変化はないが、全国的に新型コロナウイルスの感染者が多いことから人流が制限され、お土産関連の商品は前年同月の売り上げよりさらに減少した。</p>
<p>食料品 (パン・菓子製造業)</p>	<p>東京オリンピックの開幕による景気の回復を期待していたが、緊急事態宣言の影響により不発となった。売り上げを回復させるためにリアルなイベント開催が必要なため検討している。</p>
<p>繊維・同製品 (織物)</p>	<p>裏地、ネクタイ部門は一部に受注があるが、全体的に動きが鈍く厳しい状況。インテリア部門では新たな受注はない。傘地部門ではECサイトを中心に売り上げが増加している。OEM商品では、新製品の開発に意欲的な取引先と従来製品を取り扱う取引先では発注量や売り上げに明確な差が出てきている。</p>
<p>木材・木製品製造</p>	<p>ウッドショックによる木材価格の上昇が続いている。輸入材の入荷が少ないため内地材に転換しているが、内地材の供給も追いつかない状況となり、木材の価格高騰が続いている。</p>
<p>印刷・同関連業</p>	<p>新型コロナウイルス収束の目処が立たず、相変わらずイベントが開催されていない。印刷物の需要が少なく、先行きに不安を抱えている。</p>
<p>窯業・土石 (山砕石)</p>	<p>景況の悪化は依然続いているが、舗装用骨材や割栗石の販売量が増加したことで売り上げは改善した。理由としては、中部横断自動車道の最終工程となる道路表層舗装工事が進んだことや、6月から出水期となり河川工事が行えなくなることから完成を急いだことが考えられる。コンクリート関連工事の早期発注と早期着手が待ち遠しい。</p>

<p>鉄鋼・金属 (金属製品製造業)</p>	<p>輸出制限があり生産量を抑制していたため売り上げが大幅に減少していた前年同月と比べると、7月期は国内向けの生産分が売り上げ、収益ともに60%程回復した。しかし、半導体も自動車向けも勢いは衰え、一昨年の売り上げには至っていない。</p>
<p>一般機器 (生産用機械器具製造業)</p>	<p>売り上げは若干増加してきたが、7月期も依然として仕事量が確保できず週4休を継続、未だ雇用調整助成金を活用している。</p>
<p>電気機器 (電気機械部品加工業)</p>	<p>半導体製造関連は順調に受注しているが、医療機器関連や光学測定装置関連は新型コロナウイルス感染症の終息目処が立たないことから生産計画が遅れ受注量が減少、顧客の業種により明暗が分かれている。売り上げは前年同月と比べ約10%増加、反対に収益は約10%悪化した。</p>
<p>宝飾 (研磨)</p>	<p>7/14(水)～15(木)にかいてらすで組合主催の展示会、研磨新作見本市「第72回ジュエムストーンフェア in 甲府」を開催した。会場には看護師を駐在させるとともに、感染予防対策を徹底したうえで約30社が出展。売り上げが好調で前年同月と比べ30%程増加した。</p>

● 非製造業

<p>卸売 (自動車中古部品)</p>	<p>前年同月に比べ買取価格の相場は好転しているが、新車の生産が間に合わないことから中古車の販売が好調。車の需要が高いことから廃車の発生量が減少し景況は悪化している。</p>
<p>卸売 (ジュエリー)</p>	<p>東京都に緊急事態宣言が発令されたことで展示会の中止・縮小を余儀なくされ、来店者数も減少した。景況がわずかながら好転し、各社の営業努力から売り上げも回復しつつあったが、一転悪化した。</p>
<p>小売 (青果)</p>	<p>異常な気温の高さが影響し地場農産物が不作、流通量が減少した。加えて消費が振るわず、売り上げ、収益ともに落ち込んだ。</p>
<p>小売 (食肉)</p>	<p>2019年の売り上げには及ばないが、前年同期よりは回復傾向にある。しかし、首都圏の4回目の緊急事態宣言からホテル、旅館、飲食店の需要は伸びない。8月は例年来県客が増えることから売上増を期待している。</p>

<p>小 売 (電気機械器具小売業)</p>	<p>前年同月の売り上げが低かったために、今期は30%程増加したが、経営改善には繋がっていない。</p>
<p>商 店 街</p>	<p>ECサイトや通信販売などの非接触型販売の利用が高まり、組合員の売り上げや来店者数が減少している。現状が続けば商店街も個人店も経営継続は難しい。今後はかなり厳しい時代になる。</p>
<p>宿 泊 業</p>	<p>オリンピックが開幕した4連休には宿泊の予約状況は好調であったが、7月期最終週から新型コロナウイルス感染症が急拡大したことで予約数は減少。またも先行きが不透明な状況となった。</p>
<p>一般廃棄物処理</p>	<p>大手食料品メーカーが来年度から施行されるプラスチック資源循環促進法によるプラスチックごみの一括回収に参入する兆しがあり、動向を注視している。</p>
<p>警 備 業</p>	<p>土木関連工事や小規模イベント、新型コロナワクチン関連の警備が増え売り上げは増加したが、7月期月上旬の天候不良による工事の中止から売り上げの伸び率は低い結果となった。また、新規顧客からの警備依頼が増加している反面、警備員の高齢化と退職による人手不足が生じ、受注が難しい状況の組合員もある。</p>
<p>建 設 業 (総 合)</p>	<p>公共工事は前年同月と比べ件数は8%増加、請負金額では27%増加している。7月末累計では件数は0.4%減少しているものの、請負金額では18%の増加となった。</p>
<p>建 設 業 (型 枠)</p>	<p>公共工事、民間工事が徐々に増え始めたことから、多くの組合員は9月以降も工事量は増加すると予想している。</p>
<p>建 設 業 (鉄 構)</p>	<p>毎月少しずつ鋼材価格が上昇し、新型コロナウイルス等の影響で工期に遅れが発生しており、見積もり時の価格と仕入れ時の鋼材価格に差が生じ収益が圧迫されている。</p>
<p>設備工事 (管設備)</p>	<p>前年同月と比べ売り上げは約16%、収益は約7%増加し、集計上は好転しているように見えるが、資材高騰の兆候が見え、楽観視はできない。</p>

運 輸 (タクシー)	緊急事態宣言やまん延防止等重点措置が各地に発令されていることや、新型コロナウイルスに対するワクチンの接種が予想より進んでいないことにより今後の見通しが立たない。
運 輸 (バ ス)	緊急事態宣言が発令され観光客をはじめバスの利用客が減少、観光業界全体への影響が大きい。売上げ、収益ともに前年同月比▲80%となった。

■ 対前年同月比及び前月比景気動向D I 値 (好転又は増加の割合から、悪化又は減少の割合を引いた値)

対前年・前月・当月	製 造 業			非 製 造 業			合 計		
	2020/7	2021/6	2021/7	2020/7	2021/6	2021/7	2020/7	2021/6	2021/7
売 上 高	-70	-5	15	-43	13	27	-54	6	22
収 益 状 況	-45	-25	-15	-30	-10	13	-36	-16	2
景 況 感	-70	-25	-5	-50	-20	-7	-58	-22	-6

※((良数値÷対象数)×100) - ((悪数値÷対象数)×100) = D.I値

